

# Safety Data Sheet (EC)No.1907/2006 準拠

## Livos GLEIVO Beeswax グレイボ

製品番号：315

2016年7月25日 初版

1. 基本情報及び会社情報				
1-1. 基本情報	製品名	Livos GLEIVO Beeswax グレイボ 製品番号：315		
	製造者	LIVOS Pflanzenchemie Forschungs- und Entwicklungs GmbH & Co. KG		
	住所	Auengrund 10 D - 29568 Wieren		
	電話番号	+49(0)5825-88-0	FAX	+49(0)5825-8864
	e-mail	info@livos.de		
1-2. 使用用途	分類	概要：オイル塗装された羽目板や家具の保護、メンテナンス用 蜜蝋ワックス 水が飛散する場所には不適（白濁の恐れ） 適用：内装木部、テラコッタ、コルク、リノリウム		
	補足	特になし		
1-3. 緊急時の お問合せ先	お問合せ先	株式会社イケダコーポレーション		
	電話番号	06-6452-9377		
1-4. 輸入業者	会社名	株式会社イケダコーポレーション		
	住所	〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F		
	電話番号	06-6452-9377	FAX	06-6452-9378
	HP	www.iskcorp.com	e-mail	info@iskcorp.com
2. 危険有害物の要約				
2-1. 物質または 混合物の分類	混合物は、(EC)No.1272/2008 準拠により、危険物有害性物質には分類されない。			
2-2. ラベル要素	<b>注意：</b> P102 子どもの手の届かない場所に保管する。 P301+P310 飲み込んだ場合：口をすすぎ、吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける <b>特定の混合物に関する特別なラベリング：</b> EUH066 繰り返し暴露すると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こす可能性。 EUH208 リモネン（オレンジオイル）、コバルト（2+）塩が含まれ、アレルギー反応を引き起こすところがある。			
2-3. その他の危険	塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。 製品自体は自然発火しない。 換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。			

3. 組成及び成分情報		
3-2. 化学的特性	化学的特性	<p><b>全成分：</b>                      イソアリファータ、ビーズワックス、マイクロワックス、カルナバワックス、アマニ油、オレンジオイル、アルミナ、ローズマリーオイル</p>
	有害成分	<p>イソアリファータ (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CAS No.90622-58-5</li> <li>・ EC No.918-167-1</li> <li>・ REACH No.01-2119472146-39</li> <li>・ (EC)No.1272/2008[CLP]準拠に従って分類： Asp.Tox.1:H304</li> <li>・ 割合 50～&lt;70%</li> </ul> <p>※ H と EUH 書類に関する全文は、セクション 16 を参照</p>
4. 応急処置		
4-1. 応急処置の説明	吸 入	新鮮な空気のある場所で安静にする。気道に刺激がある場合は、医師の診察を受ける。
	皮膚接触	水と石鹼で洗い流す。
	目に入った場合	汚れた服を脱ぎ、再利用する場合は、洗ってから使用する。 すぐに大量の流水で慎重かつ十分に洗い流す。刺激が残る場合は、眼科医で診察を受ける。
	飲み込んだ場合	無理に嘔吐させない。直ちに医師の診察を受ける。
4-2. 重要な症状と影響 (急性・遅発)	入手可能な情報なし	
4-3. 医師の診察と特別な治療	病状により処置する。	
5. 火災時の措置		
5-1. 消火剤	<p>適切な消火剤：                      二酸化炭素 (CO2)、消火粉末、水噴霧ジェット。火災部周辺に消火対策を施す。</p> <p>不適消火剤：ウォータージェット</p>	
5-2. 物質/混合に伴う特別な危険性	塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。 製品自体は自然発火しない。	
5-3. 消防士へのアドバイス	火災の際は、自給式呼吸器を着用する。	
追加情報	水噴霧ジェットは、人体の保護、危険にさらされた容器の冷却に使用する。 汚染した消火用水は別で回収する。排水溝や地表に放置することはできない。	

6. 漏出時の措置											
6-1. 人体に対する予防措置、 保護具及び緊急処置	防護服を使用する。 十分な換気を行う。										
6-2. 環境に対する予防措置	地表や排水へ製品を排出してはならない。										
6-3. 洗浄の方法・材料	液体結合性材料（砂、珪藻土、酸、結合剤等）で吸収させる。 廃液は地域条例に従って廃棄する。										
6-4. 他章の参照	安全な取扱い：第7章を参照してください。 保護具：第8章を参照してください。 廃棄：第13章を参照してください。										
7. 取扱い及び保管上の注意											
7-1. 取扱い上の注意	<b>安全な取扱いに関するアドバイス：</b> 容器は密閉する。 十分な換気を行う。 <b>火災及び、爆発防護に関するアドバイス：</b> 発火源から遠ざける（喫煙厳禁）。熱から遠ざける。										
7-2. 安全な保管の条件	<b>保管室と容器の必要条件：</b> 涼しく、換気の良い場所で保管する。 熱から遠ざけること。 <b>安全な保管に関するアドバイスと条件：</b> 特別な処置は必要ありません。										
7-3. 具体的な使用用途	浸透性プライマーオイル 内装・外装用木部 密着性を高め、着色の色ムラを抑える。										
8. ばく露防止及び保護措置											
8-2. 露出制限・管理	<table border="1"> <tr> <td>保護と衛生対策</td> <td>汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 作業中は飲食を避ける。</td> </tr> <tr> <td>目と顔の保護</td> <td>保護メガネを着用する</td> </tr> <tr> <td>手の保護</td> <td>化学物質を取り扱う際は、化学薬品に強い保護手袋を着用する。 具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。</td> </tr> <tr> <td>皮膚の保護</td> <td>防護服を着用する。</td> </tr> <tr> <td>呼吸の保護</td> <td>換気が十分でない場所では、呼吸用保護具を着用する。</td> </tr> </table>	保護と衛生対策	汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 作業中は飲食を避ける。	目と顔の保護	保護メガネを着用する	手の保護	化学物質を取り扱う際は、化学薬品に強い保護手袋を着用する。 具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。	皮膚の保護	防護服を着用する。	呼吸の保護	換気が十分でない場所では、呼吸用保護具を着用する。
保護と衛生対策	汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 作業中は飲食を避ける。										
目と顔の保護	保護メガネを着用する										
手の保護	化学物質を取り扱う際は、化学薬品に強い保護手袋を着用する。 具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。										
皮膚の保護	防護服を着用する。										
呼吸の保護	換気が十分でない場所では、呼吸用保護具を着用する。										

9. 物理的及び化学的性質		
9-1. 物理的情報	形 状	液体
	色	透明
	匂 い	独特
	引火点	>63°C
	可燃性	
	固体	該当なし
	ガス	該当なし
	爆発性	換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。
	爆発範囲	
	下限	
	上限	
	発火温度	>200°C
	自然発火温度	
	固体	該当なし
ガス	該当なし	
熱分解温度	未定	
酸化特性	データなし	
蒸気圧	未定	
比 重(20°C)	0.78 g/cm <sup>3</sup>	
粘度(20°C)	>20.5 m m <sup>2</sup> /s	
9-2. その他の情報		入手可能な情報なし
10. 安定性及び反応性		
10-1. 反応性	規定に従って処理・保存において有害な反応なし。	
10-2. 化学的安定性	通常の周囲温度で安定して貯蔵できる	
10-3. 危険反応	既知の有害な反応はありません。	
10-4. 回避条件	熱から遠ざける。	
10-5. 互換性の無い材料	酸と混ぜない。強酸化剤	
10-6. 有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。	

11. 有害性情報		
11-1. 毒物学的作用の情報	急性毒性	<p>利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。</p> <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CAS No.90622-58-5</li> <li>・暴露経路：経口</li> <li>・対象種：ラット</li> <li>・LD50：&gt;5,000mg/kg</li> <li>・暴露経路：皮膚</li> <li>・対象種：ラビット</li> <li>・LD50：&gt;5,000mg/kg</li> </ul>
	腐食／刺激効果	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	過敏性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	STOT-単独暴露	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	長期影響	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	発がん性・変異原性・毒性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	呼吸器有害性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
12. 環境影響情報		
12-1. 毒性	魚に対する毒性	<p>製品はテストされていない。</p> <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象種：魚</li> <li>・LC50：&gt;1,000mg/l</li> <li>・暴露時間：96h</li> </ul>
	藻類に対する毒性	<p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象種：藻類</li> <li>・ErC50：&gt;1,000mg/l</li> <li>・暴露時間：72h</li> </ul>
	甲殻類に対する毒性	<p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象種：オオミジンコ</li> <li>・EC50：&gt;1,000mg/l</li> <li>・暴露時間：48h</li> </ul>
12-2. 残留性及び分解性	製品はテストされていない。	
12-3. 生体内蓄積の可能性	製品はテストされていない。	
12-4. 土壌中の流動性	製品はテストされていない。	
12-5. PBT と vPvB の評価	製品はテストされていない。	
12-6. その他の悪影響	入手可能な情報なし	
詳しい情報	排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。	

13. 廃棄上の注意		
13-1. 廃棄物処理	推 奨	排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。 廃液は地域条例に従って廃棄する。
	汚染した梱包	大量の水で洗う。空の容器は再利用することができる。
14. 輸送上の注意		
陸上輸送 (ADR/RID)		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
内陸水路輸送 (ADN)		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
海上輸送 (IMDG)		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
航空輸送 (ICAO)		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
14-6. ユーザーの為の特別な 注意事項	入手可能な情報なし	
14-7. マルポール条約 73/78 付属書 II 及び IBC コードに よるばら積み輸送	適用なし	
15. 適用法令		
15-1. 安全・健康及び環境に 関する法令/物質または混合 物に関する特別法	EU 規制情報：2010/75/EU (VOC)：88% 追加情報：850/2004/EC, 79/117/EEC, 689/2008/EC 水質汚染クラス (D)：1-わずかな水の汚染	
15-2. 化学物質安全性評価	混合物の安全性評価は行っていない。	
16. その他の情報		
H と EUH に関する記述	H304 飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ EUH066 繰り返し暴露すると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こす可能性。 EUH208 リモネン (オレンジオイル)、コバルト (2+) 塩が含まれ、アレルギー 反応を引き起こすところがある。	
備 考	当 SDS にて提供される情報は、現在知りうる知見、事例、公表されたデータを基にしたものである。当 SDS は製品の安全な取扱い、使用、保管、運搬の指導を目的としたもので、保証や品質の仕様を約束するためのものではない。この情報は他の製品に転用することは出来ない。当 SDS は製品の詳細と、混合することが推奨されない物質や、推奨されない作業に関連した情報である。当 SDS は安全面に関する情報だけを含み、製品情報または製品仕様書ではない。	